
業績ハイライト

— 平成26年3月期決算について —



— 目 次 —

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	10
9. 平成27年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

(1) じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	25年3月期	26年3月期	増減率	
			前年同期比	増減率
連結経常収益	33,838	41,548	7,710	22.7
連結経常利益	2,036	6,114	4,078	200.2
連結当期純利益	1,950	4,661	2,711	139.0

※25年3月期の連結決算は、24年10月のじもとホールディングス設立に際して、企業結合会計上の取得企業をきらやか銀行としたため、きらやか銀行の連結決算を基礎に、仙台銀行の平成24年10月～25年3月の連結決算を連結したものとなっております。

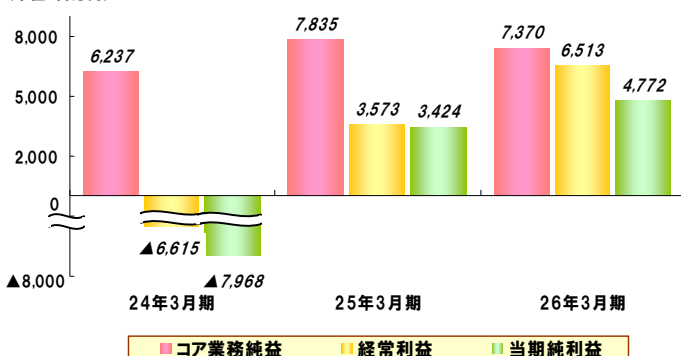
○じもとホールディングスの連結経常収益は415億48百万円、連結経常利益は61億14百万円、連結当期純利益は46億61百万円となりました。

(2) 2行合算

(単位:百万円、%)

	25年3月期	26年3月期	増減率	
			前年同期比	増減率
経常収益	43,727	41,538	△ 2,188	△ 5.0
業務粗利益	33,937	33,078	△ 858	△ 2.5
資金利益	30,436	30,024	△ 411	△ 1.3
役務取引等利益	2,738	2,990	251	9.1
その他業務利益	761	62	△ 698	△ 91.7
うち国債等債券損益	506	47	△ 459	△ 90.5
経費(除く臨時処理分)	25,595	25,660	65	0.2
うち人件費	12,492	12,535	42	0.3
うち物件費	11,744	11,730	△ 14	△ 0.1
業務純益(一般貸倒繰入前)	8,342	7,417	△ 924	△ 11.0
コア業務純益	7,835	7,370	△ 465	△ 5.9
一般貸倒引当金繰入額	△ 734	△ 96	638	—
業務純益	9,076	7,514	△ 1,562	△ 17.2
臨時損益	△ 5,502	△ 1,000	4,502	—
うち不良債権処理額	2,762	865	△ 1,897	△ 68.6
うち個別貸倒引当金繰入額	1,158	551	△ 607	△ 52.4
うち貸倒引当金戻入益	2,130	557	△ 1,572	△ 73.8
うち株式等関係損益	△ 498	265	764	—
経常利益	3,573	6,513	2,940	82.2
特別損益	△ 157	△ 1,581	△ 1,424	—
当期純利益	3,424	4,772	1,348	39.3
与信関係費用	△ 134	193	328	—

(単位:百万円)



○ 2行合算の経常収益は、前年同期比21億88百万円減少の415億38百万円(増減率△5.0%)となりました。

○ 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加したものの、資金利益の減少等により、前年同期比4億65百万円減少の73億70百万円(増減率△5.9%)となりました。

○ 経常利益は不良債権処理額の減少等により、前年同期比29億40百万円増加の65億13百万円、当期純利益は前年同期比13億48百万円増加の47億72百万円となりました。

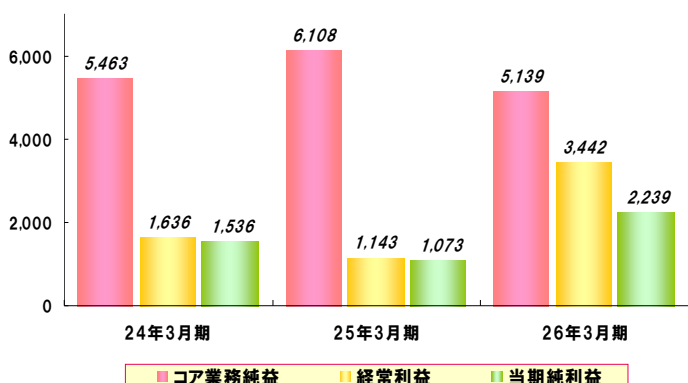
1. 損益の状況

(3) きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	25年3月期	26年3月期	前年同期比	
			増減率	増減率
経常収益	25,975	24,874	△ 1,101	△ 4.2
業務粗利益	21,412	20,058	△ 1,354	△ 6.3
資金利益	19,352	18,372	△ 979	△ 5.0
役務取引等利益	1,396	1,490	94	6.7
その他業務利益	664	195	△ 469	△ 70.6
うち国債等債券損益	414	184	△ 229	△ 55.3
経費(除く臨時処理分)	14,890	14,734	△ 156	△ 1.0
うち人件費	7,541	7,712	171	2.2
うち物件費	6,608	6,296	△ 311	△ 4.7
業務純益(一般貸倒繰入前)	6,522	5,324	△ 1,197	△ 18.3
コア業務純益	6,108	5,139	△ 968	△ 15.8
一般貸倒引当金繰入額	△ 734	△ 96	638	-
業務純益	7,256	5,420	△ 1,835	△ 25.2
臨時損益	△ 6,112	△ 1,978	4,134	-
うち不良債権処理額	2,649	749	△ 1,900	△ 71.7
うち個別貸倒引当金繰入額	1,158	551	△ 607	△ 52.4
うち株式等関係損益	△ 112	191	303	-
経常利益	1,143	3,442	2,298	200.9
特別損益	△ 29	△ 1,077	△ 1,048	-
当期純利益	1,073	2,239	1,166	108.6
与信関係費用	1,915	650	△ 1,264	△ 66.0

(単位:百万円)



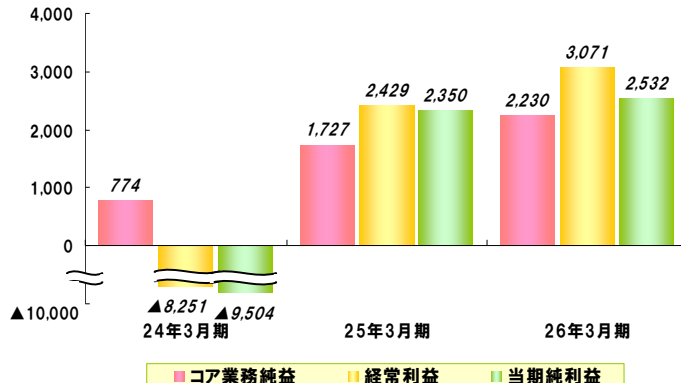
- 経常収益は、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したものの、貸出金利息が減少したことなどから、前年同期比11億1百万円減少の24億74百万円(増減率△4.2%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加し、物件費が減少した一方で、資金利益が減少したことなどから、前年同期比9億68百万円減少の51億39百万円(増減率△15.8%)となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比12億64百万円減少の6億50百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比22億98百万円増加の34億42百万円、当期純利益は前年同期比11億66百万円増加の22億39百万円となりました。

(4) 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	25年3月期	26年3月期	前年同期比	
			増減率	増減率
経常収益	17,751	16,664	△ 1,086	△ 6.1
業務粗利益	12,524	13,020	495	3.9
資金利益	11,084	11,652	567	5.1
役務取引等利益	1,342	1,500	157	11.7
その他業務利益	97	△ 132	△ 229	△ 235.5
うち国債等債券損益	92	△ 137	△ 229	△ 247.9
経費(除く臨時処理分)	10,704	10,926	222	2.0
うち人件費	4,951	4,823	△ 128	△ 2.5
うち物件費	5,135	5,433	297	5.7
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,820	2,093	273	15.0
コア業務純益	1,727	2,230	503	29.1
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
業務純益	1,820	2,093	273	15.0
臨時損益	609	977	367	60.2
うち不良債権処理額	112	115	2	2.5
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	2,130	557	△ 1,572	△ 73.8
うち株式等関係損益	△ 385	74	460	-
経常利益	2,429	3,071	641	26.3
特別損益	△ 128	△ 504	△ 376	-
当期純利益	2,350	2,532	182	7.7
与信関係費用	△ 2,049	△ 456	1,593	-

(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金や役務取引等収益が増加したものの、貸倒引当金戻入益や国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比10億86百万円減少の16億64百万円(増減率△6.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、平成25年5月のシステム移行に伴い物件費が増加した一方で、資金利益や役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比5億3百万円増加の22億30百万円(増減率29.1%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益5億57百万円の計上により、4億56百万円の戻入れとなりました。
- この結果、経常利益は前年同期比6億41百万円増加の30億71百万円、当期純利益は前年同期比1億82百万円増加の25億32百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

(1) じもとホールディングス連結

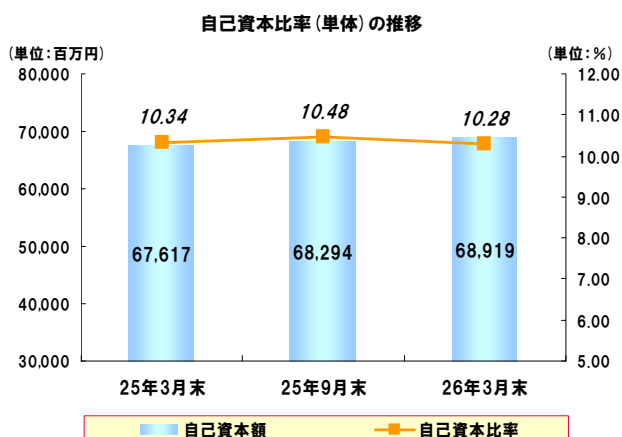


○ じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.41%となりました。

	旧基準		新基準	(単位:%)	
	25年3月末	25年9月末	26年3月末	25年3月末比	25年9月末比
連結自己資本比率	10.67	10.74	10.41	-	-

※ 平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(バーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。

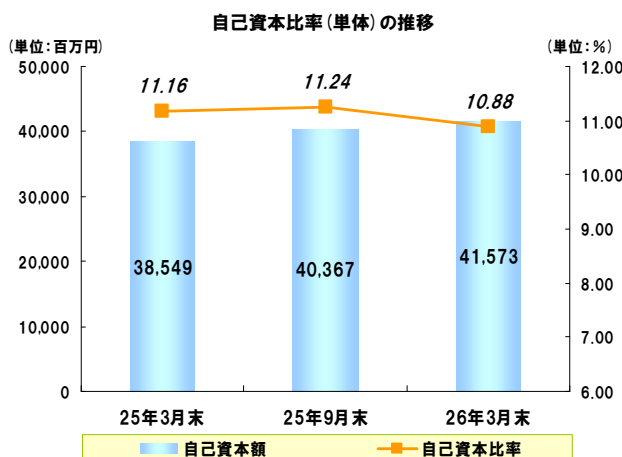
(2) きらやか銀行



○ きらやか銀行の単体自己資本比率は、10.28%となりました。

	旧基準		新基準	(単位:%)	
	25年3月末	25年9月末	26年3月末	25年3月末比	25年9月末比
自己資本比率[単体]	10.34	10.48	10.28	-	-
自己資本比率[連結]	10.53	10.67	10.32	-	-

(3) 仙台銀行



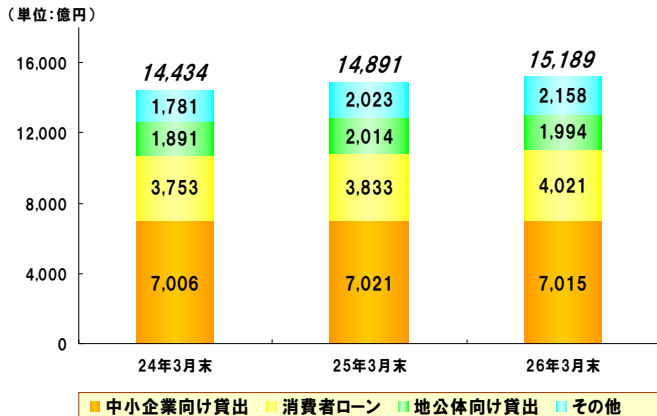
○ 仙台銀行の単体自己資本比率は、10.88%となりました。

	旧基準		新基準	(単位:%)	
	25年3月末	25年9月末	26年3月末	25年3月末比	25年9月末比
自己資本比率	11.16	11.24	10.88	-	-

(注) 連結自己資本比率は、仙台銀行の連結子会社がなくなったことにより表記していません。

3. 貸出金の状況

(1) 2行合算

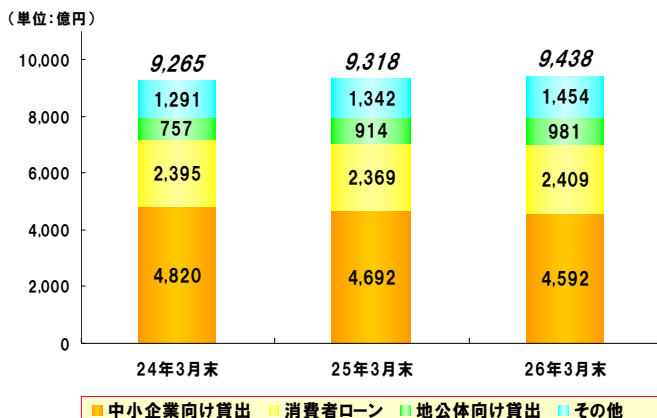


○ 2行合算の貸出金残高は、25年3月末比297億40百万円増加の1兆5,189億35百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,489,194	1,518,935	29,740	1.9
うち中小企業向け貸出残高	702,127	701,515	△ 612	△ 0.0
うち消費者ローン	383,304	402,116	18,811	4.9
うち住宅ローン	360,708	378,578	17,870	4.9
うち地方公共団体向け貸出	201,462	199,435	△ 2,026	△ 1.0

(2) きらやか銀行

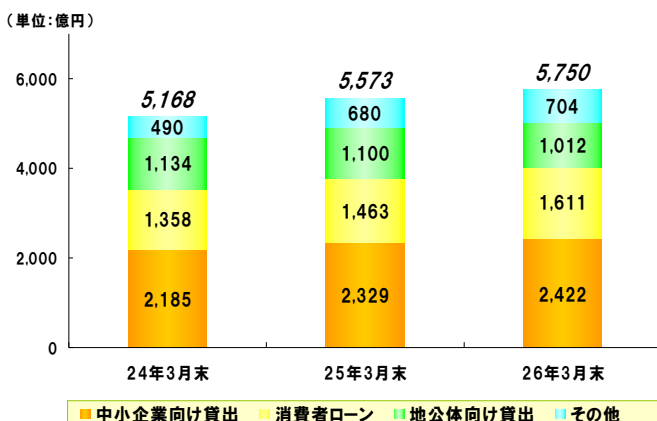


- 貸出金残高は、25年3月末比119億80百万円増加の9,438億47百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、25年3月末比99億37百万円減少の4,592億75百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の増加により、25年3月末比39億88百万円増加の2,409億72百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、25年3月末比67億55百万円増加の981億65百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	931,867	943,847	11,980	1.2
うち中小企業向け貸出残高	469,212	459,275	△ 9,937	△ 2.1
うち消費者ローン	236,984	240,972	3,988	1.6
うち住宅ローン	224,623	228,696	4,073	1.8
うち地方公共団体向け貸出	91,410	98,165	6,755	7.3

(3) 仙台銀行



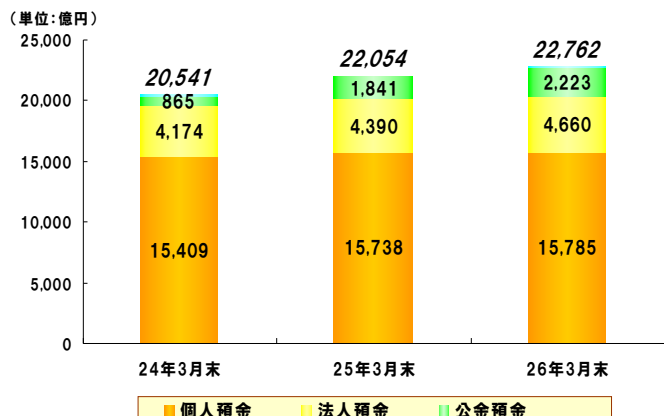
- 貸出金残高は、25年3月末比177億60百万円増加の5,750億87百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、25年3月末比93億25百万円増加の2,422億39百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出の増加により、25年3月末比148億23百万円増加の1,611億44百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、25年3月末比87億81百万円減少の1,012億70百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
貸出金(末残)	557,327	575,087	17,760	3.1
うち中小企業向け貸出残高	232,914	242,239	9,325	4.0
うち消費者ローン	146,320	161,144	14,823	10.1
うち住宅ローン	136,085	149,882	13,796	10.1
うち地方公共団体向け貸出	110,052	101,270	△ 8,781	△ 7.9

4. 預金(譲渡性預金を含む)の状況

(1) 2行合算

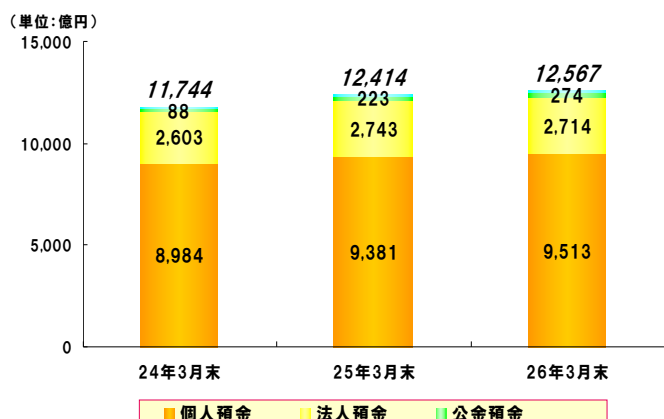


○ 2行合算の預金残高は、25年3月末比707億96百万円増加の2兆2,762億17百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,205,421	2,276,217	70,796	3.2
うち個人預金	1,573,853	1,578,506	4,653	0.2
うち法人預金	439,090	466,049	26,958	6.1
うち公金預金	184,105	222,398	38,292	20.7

(2) きらやか銀行

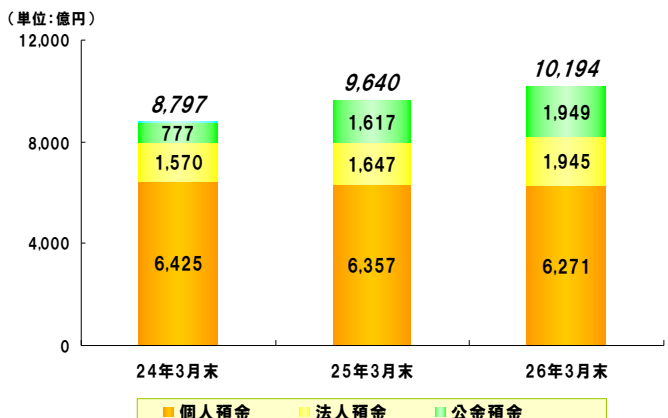


- 預金残高は、個人預金・公金預金が増加したことにより、25年3月末比153億69百万円増加の1兆2,567億79百万円となりました。
- 個人預金は、両行合同で実施したキャンペーン預金への預入増加などにより、25年3月末比131億66百万円増加の9,513億7百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手元流動性預金が減少していることなどにより、25年3月末比28億49百万円減少の2,714億69百万円となりました。
- 公金預金は、25年3月末比51億4百万円増加の274億58百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,241,410	1,256,779	15,369	1.2
うち個人預金	938,140	951,307	13,166	1.4
うち法人預金	274,319	271,469	△ 2,849	△ 1.0
うち公金預金	22,353	27,458	5,104	22.8

(3) 仙台銀行



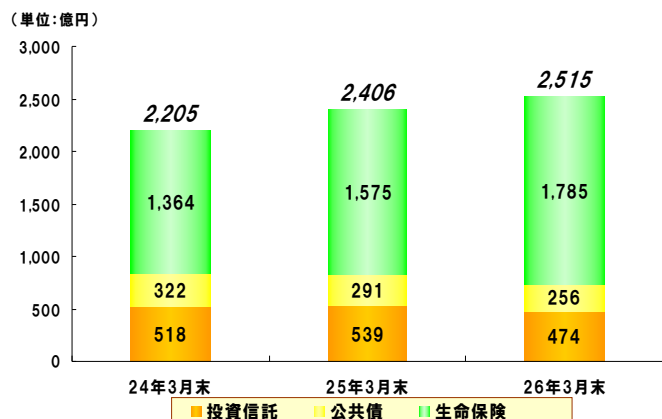
- 預金残高は、公金預金や法人預金の増加により、25年3月末比554億26百万円増加の1兆194億38百万円となりました。
- 個人預金は、5月のシステム移行に伴い一部預金科目の移動があったことなどから、25年3月末比85億13百万円減少の6,271億99百万円となりました。
- 法人預金は、上記要因や企業の手持資金の増加などにより、25年3月末比298億7百万円増加の1,945億79百万円となりました。
- 公金預金は、25年3月末比331億88百万円増加の1,949億40百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	964,011	1,019,438	55,426	5.7
うち個人預金	635,713	627,199	△ 8,513	△ 1.3
うち法人預金	164,771	194,579	29,807	18.0
うち公金預金	161,751	194,940	33,188	20.5

5. 預かり資産の状況

(1) 2行合算



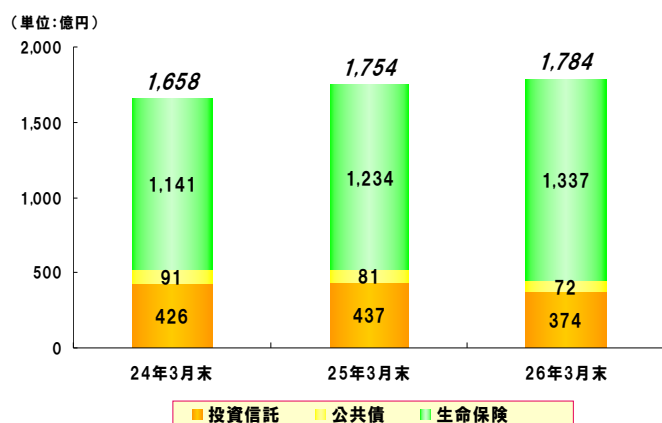
○ 2行合算の預かり残高は、25年3月比109億1百万円増加の2,515億96百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	240,695	251,596	10,901	4.5
うち投資信託	53,989	47,412	△ 6,576	△ 12.1
うち公共債(国債等)	29,194	25,659	△ 3,535	△ 12.1
うち生命保険	157,511	178,524	21,012	13.3

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

(2) きらやか銀行



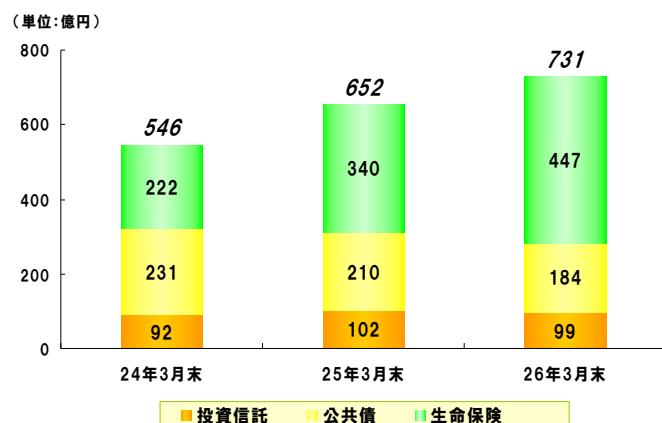
- 預かり資産残高は、25年3月末比30億55百万円増加の1,784億63百万円となりました。
- 投資信託は、26年1月からの税制変更に伴う利益確定などにより、25年3月末比63億7百万円減少の374億32百万円となりました。
- 公共債は、25年3月末比9億31百万円減少の72億56百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様ニーズを取り込んだこと等から、25年3月末比102億94百万円増加の1,337億74百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	175,408	178,463	3,055	1.7
うち投資信託	43,740	37,432	△ 6,307	△ 14.4
うち公共債(国債等)	8,188	7,256	△ 931	△ 11.3
うち生命保険	123,479	133,774	10,294	8.3

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

(3) 仙台銀行



- 預かり資産残高は、25年3月末比78億45百万円増加の731億32百万円となりました。
- 投資信託は、26年1月からの税制変更に伴う利益確定などにより、25年3月末比2億68百万円減少の99億80百万円となりました。
- 公共債は、25年3月末比26億3百万円減少の184億2百万円となりました。
- 生命保険は、営業店による販売強化により、25年3月末比107億18百万円増加の447億50百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

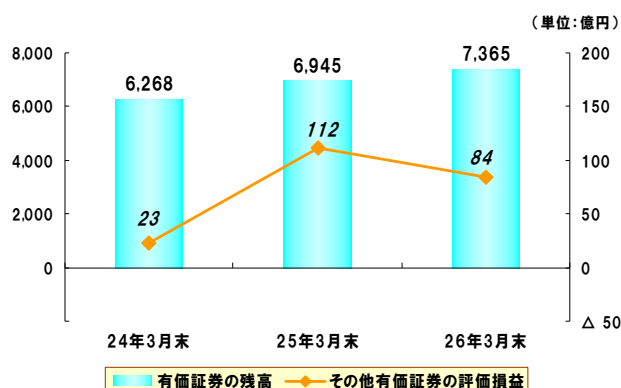
	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
預かり資産(末残)	65,287	73,132	7,845	12.0
うち投資信託	10,248	9,980	△ 268	△ 2.6
うち公共債(国債等)	21,005	18,402	△ 2,603	△ 12.3
うち生命保険	34,032	44,750	10,718	31.4

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

6. 有価証券の状況

(1) 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、25年3月末比420億62百万円増加の7,365億78百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、25年3月末比27億55百万円低下し、84億90百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円、%)

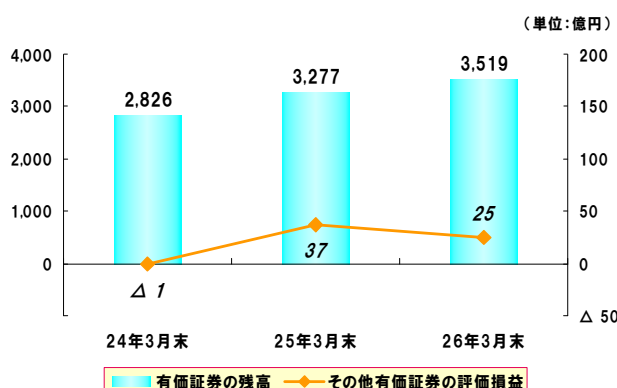
	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
有 価 証 券	694,515	736,578	42,062	6.0
国 債	228,371	239,515	11,144	4.8
地 方 債	92,524	98,157	5,633	6.0
社 債	283,187	303,253	20,065	7.0
株 式	20,397	19,001	△ 1,395	△ 6.8
そ の 他 証 券	70,034	76,650	6,615	9.4

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比
そ の 他 有 価 証 券	11,246	8,490	△ 2,755
株 式	1,918	2,636	718
債 券	9,898	6,595	△ 3,302
そ の 他	△ 570	△ 740	△ 170

(2) きらやか銀行

- 有価証券残高は、預金残高が増加したことに伴い、債券を中心に運用したことから、25年3月末比241億19百万円増加の3,519億13百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、25年3月末比12億64百万円低下し、25億30百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円、%)

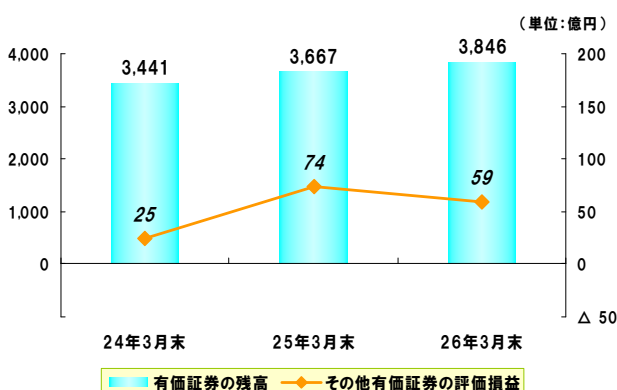
	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
有 価 証 券	327,794	351,913	24,119	7.3
国 債	107,868	122,546	14,677	13.6
地 方 債	27,032	27,737	704	2.6
社 債	135,402	141,378	5,976	4.4
株 式	11,525	10,807	△ 717	△ 6.2
そ の 他 証 券	45,965	49,444	3,478	7.5

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比
そ の 他 有 価 証 券	3,794	2,530	△ 1,264
株 式	293	535	241
債 券	4,363	2,726	△ 1,636
そ の 他	△ 862	△ 731	130

(3) 仙台銀行

- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い社債や地方債等による運用額を増加したことなどから、25年3月末比179億42百万円増加の3,846億64百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、25年3月末比14億90百万円低下の59億60百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円、%)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比	増減率
有 価 証 券	366,721	384,664	17,942	4.8
国 債	120,502	116,969	△ 3,532	△ 2.9
地 方 債	65,492	70,420	4,928	7.5
社 債	147,785	161,874	14,088	9.5
株 式	8,872	8,193	△ 678	△ 7.6
そ の 他 証 券	24,069	27,205	3,136	13.0

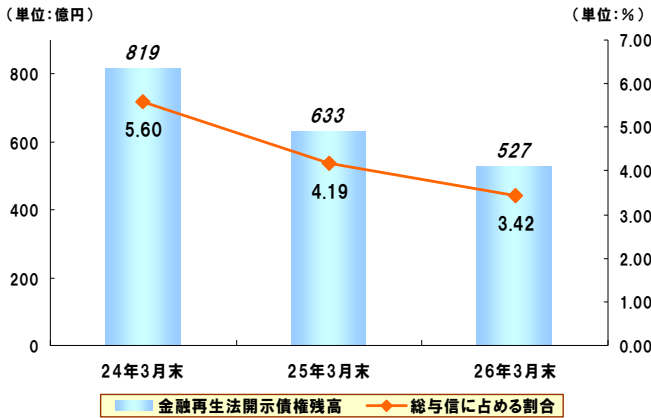
②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比
そ の 他 有 価 証 券	7,451	5,960	△ 1,490
株 式	1,624	2,101	476
債 券	5,534	3,868	△ 1,666
そ の 他	291	△ 9	△ 301

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

(1) 2行合算



- 2行合算の金融再生法開示債権残高(要管理債権以下の合計額)は、25年3月末比106億7百万円減少の527億91百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、25年3月末比0.77ポイント低下の3.42%となりました。
- 2行合算の金融再生法開示債権の保全率は、84.46%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	25年3月末	26年3月末	25年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,692	6,980	△ 1,711
危険債権	50,072	40,877	△ 9,195
要管理債権	4,634	4,933	298
合計(A)	63,399	52,791	△ 10,607
正常債権	1,446,288	1,488,012	41,724
総与信額(B)	1,509,687	1,540,803	31,116
(A/B)	4.19	3.42	△ 0.77

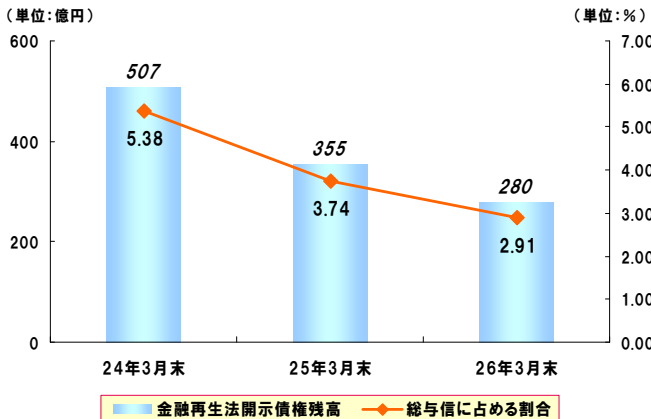
②金融再生法開示債権の保全状況(26年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,980	6,980	3,714	3,266	100.00
危険債権	40,877	36,249	30,652	5,597	88.67
要管理債権	4,933	1,357	877	480	27.52
合計	52,791	44,587	35,243	9,344	84.46

【参考】25年3月末 (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,692	8,692	5,594	3,098	100.00
危険債権	50,072	42,195	35,315	6,880	84.26
要管理債権	4,634	1,101	673	427	23.76
合計	63,399	51,989	41,583	10,406	82.00

(2) -1 きらやか銀行



- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、25年3月末比75億74百万円減少の280億24百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、25年3月末比0.83ポイント低下の2.91%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、74.66%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	25年3月末	26年3月末	25年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,704	4,583	△ 121
危険債権	26,730	19,825	△ 6,904
要管理債権	4,164	3,616	△ 548
合計(A)	35,599	28,024	△ 7,574
正常債権	913,725	933,769	20,043
総与信額(B)	949,324	961,793	12,469
(A/B)	3.74	2.91	△ 0.83

②金融再生法開示債権の保全状況(26年3月末) (単位:百万円、%)

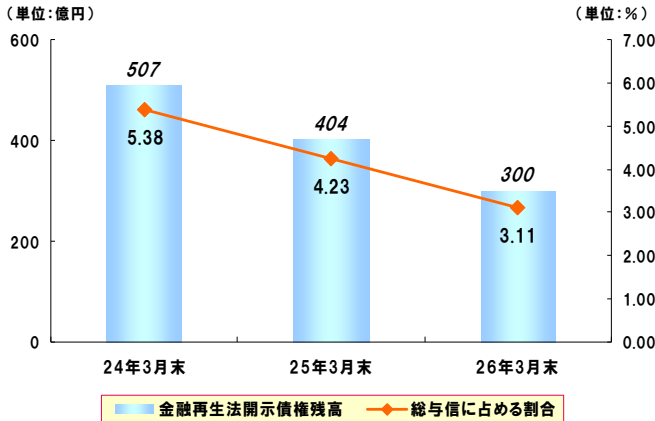
	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,583	4,583	2,192	2,391	100.00
危険債権	19,825	15,802	12,858	2,943	79.70
要管理債権	3,616	540	224	315	14.93
合計	28,024	20,925	15,275	5,649	74.66

【参考】25年3月末 (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,704	4,704	2,663	2,041	100.00
危険債権	26,730	20,781	17,358	3,422	77.74
要管理債権	4,164	817	447	370	19.64
合計	35,599	26,304	20,469	5,834	73.88

7. 金融再生法開示債権の状況

(2) -2 きらやか銀行(きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)【※】を含む)



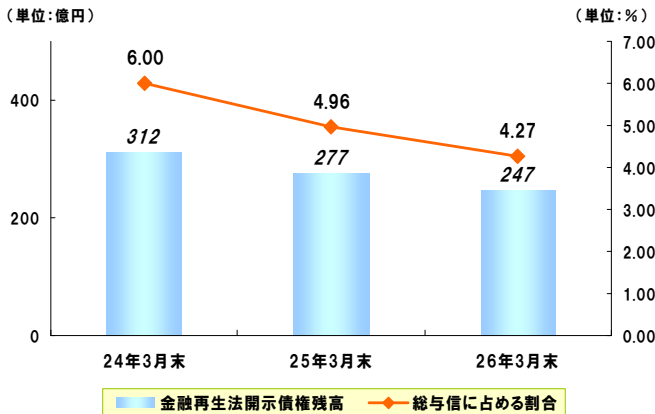
○ きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)も含めました金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、25年3月末比103億87百万円減少の300億55百万円となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,747	4,752	△ 994
危険債権	30,531	21,686	△ 8,844
要管理債権	4,164	3,616	△ 548
合計 (A)	40,442	30,055	△ 10,387
正常債権	913,725	933,769	20,043
総与信額 (B)	954,168	963,824	9,656
(A / B)	4.23	3.11	△ 1.12

【※】きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)は、従来きらやか銀行事業再生部が所管する業務を、吸収分割の手法により移管させて設立した会社です。同社では、企業再生支援、債権管理、回収に関する業務などを日本政策投資銀行と共同で実施しております。

(3) 仙台銀行



- 金融再生法開示債権の残高(要管理債権以下の合計額)は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、25年3月末比30億33百万円減少の247億66百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、25年3月末比0.69ポイント低下の4.27%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、95.54%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

	25年 3月末	26年 3月末	25年 3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,987	2,397	△ 1,589
危険債権	23,342	21,052	△ 2,290
要管理債権	469	1,317	847
合計 (A)	27,799	24,766	△ 3,033
正常債権	532,562	554,243	21,680
総与信額 (B)	560,362	579,009	18,647
(A / B)	4.96	4.27	△ 0.69

②金融再生法開示債権の保全状況(26年3月末) (単位: 百万円, %)

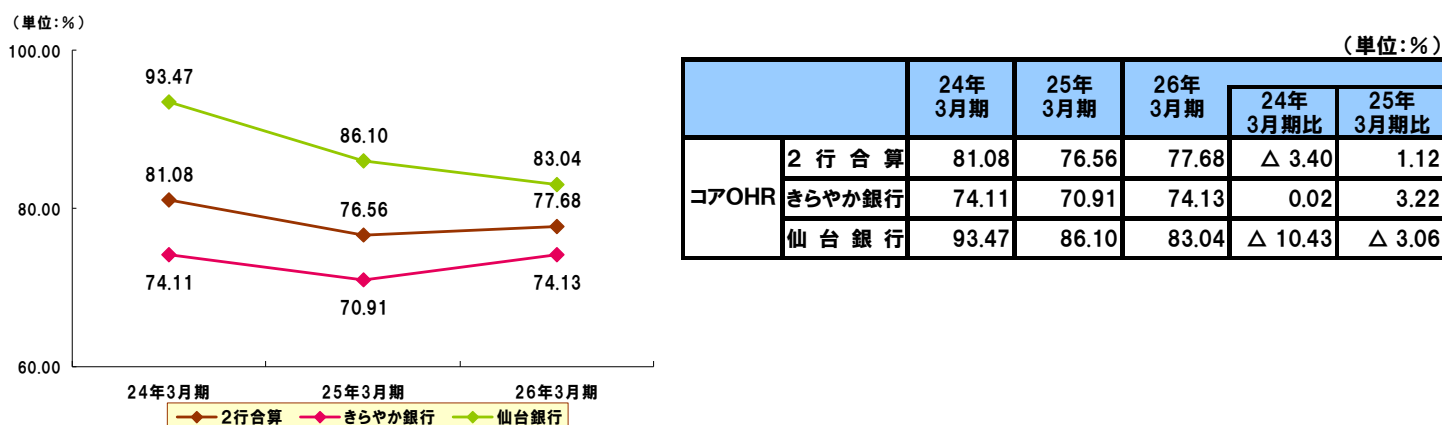
	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,397	2,397	1,522	875	100.00
危険債権	21,052	20,447	17,793	2,654	97.12
要管理債権	1,317	817	652	165	62.08
合計	24,766	23,662	19,967	3,694	95.54

【参考】25年3月末 (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)		保全率 (B/A)	
		担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,987	3,987	2,930	1,056	100.00
危険債権	23,342	21,414	17,956	3,457	91.74
要管理債権	469	283	226	57	60.31
合計	27,799	25,685	21,113	4,571	92.39

8. 経営指標

○ 2行合算のコアOHR(債券関係損益を除く)は、前年同期比1.12ポイント上昇し、77.68%となりました。



9. 平成27年3月期 業績予想及び配当方針

(1) じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成27年3月期の連結業績予想は、経常利益35億円、当期純利益31億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成26年3月期の1株当たりの期末配当は、2円を予定しております。また、平成27年3月期の年間配当金は、5円を予定しております。

	平成27年3月期	中間期	(参考)	基準日	第2四半期末	期末	年間
			平成26年3月期実績				
経常利益	3,500	1,200	6,114	配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
当期純利益	3,100	1,100	4,661	(参考)平成26年3月期	2円00銭	2円00銭	4円00銭

(2) 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益21億円、当期純利益20億円を見込んでおります。

① きらやか銀行

	平成27年3月期	中間期	(参考)
			平成26年3月期実績
経常利益	2,200	600	3,442
当期純利益	2,000	500	2,239

② 仙台銀行

	平成27年3月期	中間期	(参考)
			平成26年3月期実績
経常利益	2,100	1,000	3,071
当期純利益	2,000	1,000	2,532